

第5学年 理科 年間指導計画 (シラバス)

教科目標

(1) 生物とその環境

植物の発芽から結実までの過程、動物の発生や成長などをそれらに関わる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性についての見方や考え方を養う。

(2) 物質とエネルギー

物の溶け方、てこ及び物の動きの変化をそれらに関わる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して、物の変化の規則性についての見方や考え方を養う。

(3) 地球と宇宙

天気の変化や流水の様子を時間や水量、自然災害などに目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、気象現象や流水の動きの規則性についての見方や考え方を養う。

学習計画

月	学習すること	学習のねらい	時間
4	受けつがれる生命	・教科書の写真等を見ながら、命のたんじょうについて話し合うことができる。	2
5	1. 植物の発芽と成長 ・種子が発芽する条件 ・種子の発芽と養分 ・植物が成長する条件	・植物を育て、植物の発芽、成長のようすを調べ、種子の養分をもとにして発芽し、それには水や空気や温度が、成長には日光や肥料が関係していることがわかる。	12
5	2. 動物のたんじょう ・メダカのたんじょう	・メダカの産卵や卵のようすなどに興味をもち、卵の変化のようすを進んで調べ、動物の発生や成長にかかわる条件を計画的に追究し、生命が連続しているという見方や考え方をもつことができる。	17
6	・水中の小さな生物 (けんび鏡の使い方を含む) ・ヒトのたんじょう	・池や川の水の中には、魚が食べるものがあるか、顕微鏡を使って調べることができる。 ・ヒトの発生や成長について資料を活用しながら調べ、受精卵の成長の様子をとらえることができる。	9
6	3. 花から実へ ・花のつくり ・花粉のはたらき	・母体内での成長について計画的に追究する能力や、生命を尊重する態度を身につける。 ・育てた植物で、受粉と結実の関係を調べ、花には、めしべやおしべなどがあり、めしべが受粉すると実ができ、実の中に種子ができることがわかる。	2
	いろいろな花の花粉	・身近な花の花粉を観察したり、資料で調べたりすることができる。	

7	広げよう科学の世界を	・研究テーマを決め調べる計画を立てたり，研究したことをまとめて発表したりすることができる。	4
9	台風と気象情報	・台風の動きと天気の変化や災害について調べ，まとめることができる。	3
10	4．わたしたちの気象台 ・雲と天気の変化 ・天気の変化のきまり ・明日の天気を予想しよう	・気象情報を活用して天気の変化を調べ，天気の規則性をとらえながら，実際に天気の変化を予想することができる。	10
10	6．流れる水のはたらき ・地面を流れる水 ・川の流れとそのはたらき ・川とわたしたちのくらし	・地面を流れる水や川のようにすを観察し，流れる水の速さや量によるはたらきの違いを調べ，雨の降り方によって，流れる水の速さや水の量が変わることがわかる。	10
11	7．もののとけ方 ・水にとけたもののゆくえ ・ものが水にとける量 ・とがしたものを取り出すには	・ものが水に溶ける現象に興味をもち，水の温度や量による溶け方の違いを進んで調べ，ものが水に溶けるときの規則性についての見方や考え方をもち，ものを水に溶かし，水の温度や量による溶け方の違いを調べることができる。	14
	水よう液のふしぎをさぐる	・海水などの水溶液について調べたり，身の回りのものを水に溶かして観察したりすることができる。	1
12	電磁石のはたらき ・電磁石の極の性質 ・電磁石の強さのひみつ	・電流の性質やそのはたらきを多面的に追究し，電流は磁力を発生させるという見方や考え方をもちことができる	13
1	8．おもりが動くとき ・おもりをふったとき	・ものの運動やそれに伴う変化の規則性についての見方や考え方をもちことができ，振り子の動きに関する規則性がわかる。	8
2			
3			
合計授業時数		105時間	